



# あいち通信 第七十号

## 第十一回愛知憲法フォーラム開催報告

去る五月三日、第十一回愛知憲法フォーラムをアパホテル名古屋錦において開催した。今回は、第一部は東京会場における、櫻井よしこ氏の基調提言をインターネットで中継し、第二部はそれを受けて三人のパネルディスカッションを行うという、初めての試みであった。来場者は一五〇名と予想を大幅に超えて、椅子を追加する程の盛況となった。第一部の櫻井氏の提言は、日本を取り巻く国際情勢に対応するには、憲法改正の道しかない。そして、明治維新の「五箇条の御誓文」にこそ、日本人の生き方が示されていることを、熱く語られた。第二部に移り、黒田裕樹氏(高校教師)からは、教育現場における「帝国憲法」の扱いの実態が報告された。帝国憲法は欽定憲法であり、天皇が国民に与えた封建的なものであると教えている。しかし、帝国憲法こそ、国民を保護する権利条項が当時からある」とを細部にわたって紹介された。森垣雅夫氏(正しい歴史を伝える会理事)からは、現行憲法の制定過程についての発言。米国が日本を間接統治するため、現憲法を有効な後ろ盾であり、日本人が自主的に作成し、制定しように見せかけた米国製の憲法である。このことを、知らない日本国民は多いと、指摘。南部文宏氏(愛知県議会議員)からは、自らの陸上自衛官時代の体験をまじえて、憲法九条と自衛隊の矛盾を話された。自衛官時代、自らを否定する左翼過激派学生と対峙した経験が、憲法を改正し自衛隊を国軍にする志を固めた、と語られた。ディスカッション終了後、森藤左門氏(日本会議愛知県本部理事長)より、憲法改正

一〇〇〇万賛同者拡大運動につき、運動提起があった。一〇〇〇万人を募る中核体として、全国に推進委員を委嘱する。愛知県では七月中旬に先ず五百名の方々に推進委員に就任いただいた。この五百名が、お一人で三十名を拡大すれば一万五千名となり、愛知県三十万目標の五%をまず達成することができる。この五%によつて国家を動かして行きたいと、毛沢東の五%革命理論を引用された。会場出口では、それに応じた方々が承諾書を出し、重富亮氏(日本会議愛知県本部会長)より直接、推進委員証(カード)を受領された。いよいよ、明年の参議院議員選挙において国民投票が実現し、過半数を以つて憲法改正がなされる日が近づいた。更に邁進して行きたい。※付記 この憲法フォーラムは翌日の朝刊に、読売新聞と中日新聞が報道した。



## パラオ(ペリリユー)慰霊紀行

天皇皇后両陛下は四月八〜九日の御日程で、大東亜戦争の激戦地パラオ共和国(戦没者慰霊のため、行幸啓された。日本会議では、総勢四十七名のパラオ慰霊奉迎団が結成され、両陛下の行幸啓に合わせ、四月五日〜十日の六日間、現地御奉迎が行われた。東海からは、全日本学生文化会議の大学三年生一名(皇學館大・越智祥恵さん)と南山大(棚橋)が参加させて戴いた。主な行程は、以下の通り。五日：出発。パラオ・コロール着。六日：南洋神社参拝(たまの塔、海軍司令部跡、中川大佐(写真)自刃の地、西太平洋方面戦没者慰霊祭、ペリリユー島発)八日：老人ホーム、旧バイン向上跡、艦上戦闘機/ダウンタウンメイン御奉迎。島内慰霊参拝/十日：パラオ・コロール発、帰国。行く前からパラオに関する記事を見て、天皇陛下の御奉迎に際してどういう反応がパラオの方々から返ってくるのかとても楽しみにしていた。青い海と暑い気候、大自然を見て、人々の心からの笑顔や笑い声を聞いて、もつとこの国が好きになった。御奉迎の際に二時間前から人々が集まり、ずっと天皇陛下のお姿を待っているのを見て、私はこんなにも現地の方が遠い日本のことを考えてくださっているということに深くありたいと感謝の気持ちでいっぱいになった。そして、このことを知らなかったことを恥ずかしいと思った。現地では多くの戦跡に行かせて戴いた。中でも印象に残っているのは、海軍司令部の跡である。一トン爆弾でも壊れない頑丈な構造は、どんな爆撃にあつたかはわからないが、コンクリートが割れてその中の有刺鉄線がむき出しになった状態でもなお、コンクリートは有刺鉄線を繋いでぶら下がったままであるという光景を生み出した。いかに頑丈であつたかが伺える。また、ペリリユー島に行つた際の海軍司令部本部の隣にある防空壕も司令部と同様の造りとなつており、頑丈なその壕は現地の人々が台風の際に避難し、昔から現在まで時を越えて人々の大切な命を守っているのだということを知り、嬉しい気持ちになつた。多くの優秀な人材が死力を尽くし、この大自然の中で戦いのために、祖国のために亡くなつていかれたということ想像するとなんとも言葉にならない気持ちでいっぱいになった。今まで考えもしなかつたことを想像して考えさせられた。歴史の真実を伝えるためにペリリユーの人々がそのままとして、守つてくださったことに感謝の気持ちでいっぱいになった。自分が見てきたことを真摯に受け止めてきちんと後世に伝えて行かなければならないと思つた。日本に帰つて来てから、周りの人になんでパラオに行つていたのか?と聞かれるようになって、天皇陛下の御奉迎に行かせて戴いたと話すことと奉迎という単語もよくわからず、天皇陛下が何やってるかわからないと言われた。また、団体で行つた話とそんな日本から行くほど天皇は慕われているのかとまで言われてしまった。これが私たちの社会における教育のあり方の結果なのかと思つた。マスコミ報道されても天皇陛下の御存在に対して考えている人がどのくらいいるのであろうかと考えた。今回同行させて戴いたメンバーの方がおっしゃられた言葉を思い出した。「パラオの方々には天皇陛下を歓迎しよう」と、一目見ようと待つてくださった方がたくさんいらっしゃつたことを目にしました。しかしそこに来なかつた人たちのことも考えないといけないです。」とおっしゃつてくださった。信じてくださっている方を大切にすることはもちろんのこと、日本に対してあまりいいイメージを持っていない人とうとう付き合っていくか、これからどうしていくのかということをもつと考えねばならないと感じた。私たちの学んでいることは元の考えを持つ意味で必ず知らなければならぬことであり、必要なことである。それを踏まえた上でその親日の国の歓迎に甘んじてはいけなく深く感じた。これから必ず反日国と関わっていく上で今のままでは済まなくなってくるに違いない。その時のために、準備は今からする必要があるに違いない。個人間のつながりを大切に、少しずつ交友の和を広げていくことが今私にできることであり、周りの友人とともに継続していきたいと思つた。

(全東海学生文化会議 棚橋 美奈)



御奉迎活動のようす



中川州男 大佐  
パラオ共和国国旗

当選議員会員の紹介

平成二十七年統一地方選挙にて当選された日本会議会員の紹介

- 愛知県議員
天野 正基(小牧市)
伊藤 辰夫(名古屋市南区)
園山 康男(岡崎市)
高桑 敏直(岩倉市)
筒井タカヤ(名古屋市中東区)
直江 弘文(名古屋市中区)
南部 文宏(名古屋市中区)
山下 智也(小牧市)
名古屋市長 江崎雅博

- 浅井 正仁(中川区)
岩本 崇宏(緑区)
北野よしはる(守山区)
中田ちづ(中区)
成田 隆行(天白区)
藤沢 忠将(南区)
松井 良恵(守山区)
春日井市議員
加納 満
鬼頭 宏明
長谷川達也
長縄 典夫

- 豊山町議員
熊沢 直紀
阿久比町議員
三留 亨
武豊町議員
石川 義治



報告・名古屋東部支部 第十九回勉強会、街宣・署名活動実施!

第一回 開催日時 四月十九日(日) 午前十時三十分～午後十二時三十分
会場 昭和生涯学習センター
会費 五百円
参加者四名
「ミレーティング」テーマ:「憲法改正署名につき県本部通達」

●会費 無料 ●参加者三名
今回は当支部より発参加の方も交え恒例の街宣活動を行いました。今にも雨が降り出しそうな天気に加え少人数の為、署名は見込めそうにないと勝手な判断の下、チラシ配布と弁論に重点を置いた活動になりました。

陵墓参拝記 その四

昨年の十月十日と十一日、四国の金刀比羅宮の例大祭に参加しました。バスツアーであったため、近くにある第七十五代崇徳天皇の白峯陵には参拝することができませんでした。そのかわりといつては何ですが帰りに京都桂川パークエリアで途中下車させてもらい陵墓参拝をさせていた...



ました。二礼二拍手一礼。その後、近くにある乃木神社に参拝させていただきました。二礼二拍手一礼。近くに桓武天皇の柏原陵もあるのですが、今回は失礼させていただきました。
二礼二拍手一礼。その後、近くにある乃木神社に参拝させていただきました。二礼二拍手一礼。近くに桓武天皇の柏原陵もあるのですが、今回は失礼させていただきました。



事務局日誌(四月) 服部守孝

一日(水)年度始めに熱田神宮を参拝。遅い昼食は、境内の「宮きしめん」で。
三日(金)統一地方選挙告示日。日本会議加盟議員の必勝を祈るばかり。本日より十日間は、全身全霊で支援活動に専念したい。
十日(金)期日前投票を済ませ、南部文宏候補の立会演説会へ。会場は、我が家の氏神様の「神明社」。
十二日(日)名古屋市長選挙、愛知県議員選挙の投票日。
本会事務局で長らく尽力いただいた南部文宏さんが、見事に初当選を果たした。感無量。
十三日(月)事務所にて戦争展企画会議。展示パネルの検討と、チラシ最終チェックなど。
十六日(木)重富亮会長面談のため、総仁病院を訪問。西田事務局長にもお会いして、来る五月三日の憲法フォーラムの動員をお願いした。
十七日(金)産経新聞大阪本社営業の方と面談。名古屋における拡売につき、協力させていただくことにした。

愛知県護国神社清掃奉仕予定
■6月7日(日)午前7時開始、8時終了予定。
■引き続き7月5日(日)午前7時より実施予定。
■軍手を必ずご持参ください。また、小雨なら社屋の木枠拭きをしますので雑巾をご持参下さい。大雨は中止になりますが疑わしい天気の場合には、現場責任者の服部宛、電話(070-6583-4588)を下さい。
★5月3日は、10名の方が参加していただきました。ありがとうございました。



(5月3日 奉仕後に撮影)
「日本の息吹」を引続きご購入くださいますようお願いいたします。

新規入会者紹介 (平成二十七年三月)

ご入会ありがとうございました。
石川 義治(議員会員)
矢野 甲一郎(正会員)
浅野 則行(正会員)
種別順入会日順・敬称略

